

小規模企業景気動向調査

[平成23年12月期調査]

～全業種で悪化となり、先の見えない閉塞感が続く小規模企業景況～

2012年1月26日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2011年12月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全業種で悪化となり、先の見えない閉塞感が続く小規模企業景況…◇

12月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲38.2と3.3ptの小幅な悪化となった。加えて、小売業とサービス業の売上額DI以外はすべての項目でDIが悪化を示し、停滞から後退に転じた。消費税増税が議論されるなど、将来への不安が、年末で消費が多い時期にも関わらず、消費者のマインドを冷え込ませ、景況に先の見えない閉塞感をもたらしている。

<製造業> ◇…円高、タイ洪水などの問題が長期化し、先の見えない製造業…◇

製造業DIは、▲33.1と3か月連続の悪化となった。長引く円高の影響で、親会社が生産量を抑制したり、生産を海外へシフトしたりして、発注の減少や採算の悪化に苦しむ企業が目立つ。また、海外進出をしている企業の中には為替差損が発生し、資金繰りが悪化して苦しんでいるとの報告があった。加えて、タイの洪水被害の影響で部品調達に苦慮している企業もあった。一方で、クリスマスや年末需要向けのお菓子やおせち料理等の製造で多忙な企業もあった。

<建設業> ◇…震災工事の仕事はあるものの、民需・公共工事の減少に苦しむ建設業…◇

建設業DIは、▲39.4と前月とは一転、3.6ptの小幅な悪化となった。業界全体では、公共工事の絶対数が減少し、住宅着工数も低調であり、受注価格の引き下げを求められたり、大手ハウスメーカーとの競争を強いられたりして、利益確保に困難をきたしている企業が多い。一方で、屋根瓦工事業や電気工事業等では、震災からの復旧工事が増えるにつれ、仕事がさばき切れない状態が続いている。また、一部では、住宅エコポイント制度の効果が始まって、リフォーム工事が増えてきている。

<小売業> ◇…年末商戦が振るわず、厳しさが続く小売業…◇

小売業のDIは、▲44.8ptと前月から0.8ptとほぼ同水準となった。ようやく寒さが到来し、冬物衣料や防寒用品が出始めてきた。しかし、中小小売店では、クリスマスや年末商戦において、大型ショッピングセンターなどに顧客が流出し、売上が減少していることに加え、消費税増税議論などの先行き不安により、贅沢品や耐久消費財の購入を手控え、必要最低限の物しか購入しない消費者が多いため、大幅な改善にはつながっていない。

<サービス業> ◇…消費マインドの低下から、低迷傾向が続くサービス業…◇

サービス業DIは、▲35.5と前月と比べ3.9ptと小幅な悪化となった。震災で直接的な被害を受けた地域や原発による風評被害で企業が大きな痛手を被っている地域では、マインドが冷え込み、忘年会等のイベントを自粛するところがある。一方で、西日本を中心に、年末の需要が好調な旅館や飲食店がある地域もあった。また、理美容業関連では、節約志向から全国チェーン店等の低価格の店に顧客が流出して、新規開拓に苦心している。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲32.1	▲32.6	▲0.5	▲19.5	▲22.8	▲3.3	▲24.9	▲27.9	▲3.0
採算	▲30.1	▲34.8	▲4.7	▲25.1	▲27.8	▲2.7	▲31.8	▲41.5	▲9.7
資金繰り	▲27.4	▲30.6	▲3.2	▲22.1	▲25.7	▲3.6	▲32.9	▲36.9	▲4.0
業況	▲34.9	▲38.2	▲3.3	▲28.3	▲33.1	▲4.8	▲35.8	▲39.4	▲3.6

業種	小売業			サービス業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲44.4	▲42.9	1.5	▲39.7	▲36.7	3.0
採算	▲37.4	▲40.1	▲2.7	▲26.4	▲29.5	▲3.1
資金繰り	▲33.1	▲34.5	▲1.4	▲21.6	▲25.4	▲3.8
業況	▲44.0	▲44.8	▲0.8	▲31.6	▲35.5	▲3.9

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。